

初秋の候 宮崎県防衛協会青年部会宮崎支部会員の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。また今夏は格別の猛暑に苛まれ、改めての残暑お見舞いを申し上げる次第です。

さて先月の自衛隊関連行事は何と言っても 8 月 15 日の「大東亜戦争終戦慰霊祭」であり、宮崎県護国神社に於いての祭事から神宮会館に席を移しての、大田原勉氏による講演及び「海ゆかば」独唱、そして正午丁度に日本武道館の「全国慰霊祭」を TV 中継しながら、参加者全員で黙祷し、散華された 300 万余柱全てのご英霊に哀悼の誠を捧げました。

前夜開催された 14 日の「みたま祭」では、ご英霊達をお迎えするために護国神社の境内いっぱい「雪洞」が灯され大変幻想的な雰囲気醸成し、本部宮司によると今年はいつもより献灯希望者が多く、「雪洞」が足らず大変苦慮しましたと微笑んでおられました。

また 26 日は、横須賀の武山駐屯地で 4 年ぶりに夏祭りが開催され、盆踊りと花火大会に参加して来ましたが、元気旺盛な生徒達が跳ねる盆踊りと、相模灘に映える大輪の花火を堪能させて頂き、ひと夏の終わりを皆と一緒に愉しんできたところです。

ところで日本政府が先月末に福島第一原発からの処理水を放出し始めたところ、中国が異常な反応を示して、日本からの海産物輸入停止や中国国内の流通禁止等の措置を取り、相も変わらずいつも通りの嫌がらせを始めました。

以前からオーストラリアや韓国、そして台湾等の貿易相手国に対し自分勝手な無理筋を強いて、それが適わねばいわゆる「経済安全保障戦略」を仕掛けて屈服させようとしています。

のみならず自国民を先導し、民主党政権下で尖閣列島を国有化した際は「反日デモ」を喚起、バスや弁当はたまた日当まで支給の上、動員を掛けて官製デモで大いに煽りました。

日系企業を破壊した暴徒のスローガンは「愛国無罪」、正に共産党容認の「政府系デモ」で有り、今回は中国政府主導で SNS 等を悪用して東電や警視庁、何故か福島のラーメン屋さんにまで迷惑電話を掛けて威力業務妨害をしているようです。

経済産業省の資料に基づけば、福島第一原発から排出されるトリチウムは年間 22 兆ベクレルであり、韓国の月城原発は 71 兆ベクレル、何と中国の泰山第 3 原発は 143 兆ベクレルと大量で、日本人の私の価値観からすれば理解に苦しみ本当に開いた口が塞がりません。

日本領事館に投石した暴徒を「その責任は日本にあると」嘯き正当化する現中国政府は、「扶清滅洋」を唱え「義和団」を擁護した 123 年前の清国政府と同じ価値観で有り、明治から令和と連なる日本人はこれまでも、そしてこれからもこの面倒な隣人達とお付き合いせねばならぬ宿命なのでしょう。

令和 5 年 9 月 1 日
宮崎県防衛協会青年部会 宮崎支部長 小 倉 和 彦